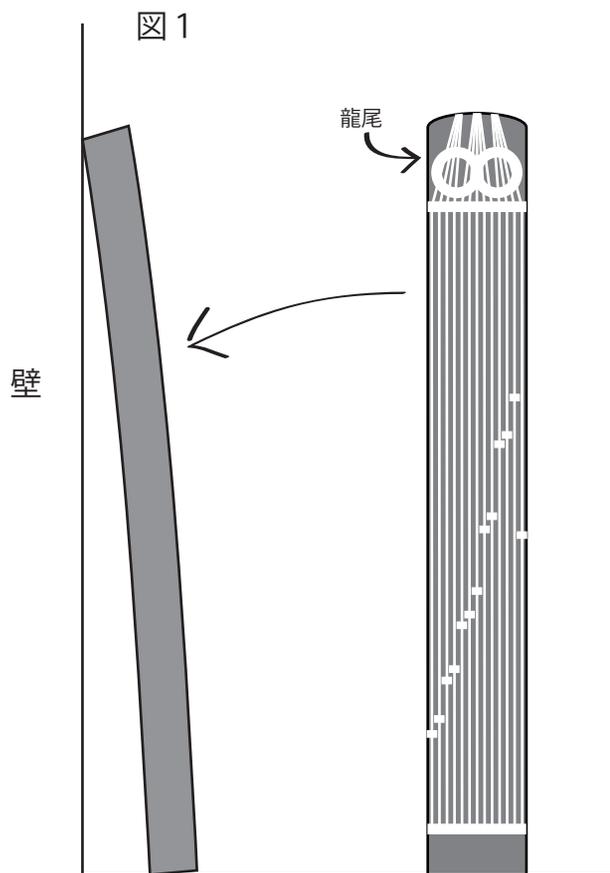


箏の持ち運びについて①(箏柱を付けた状態の一時的な移動運搬)



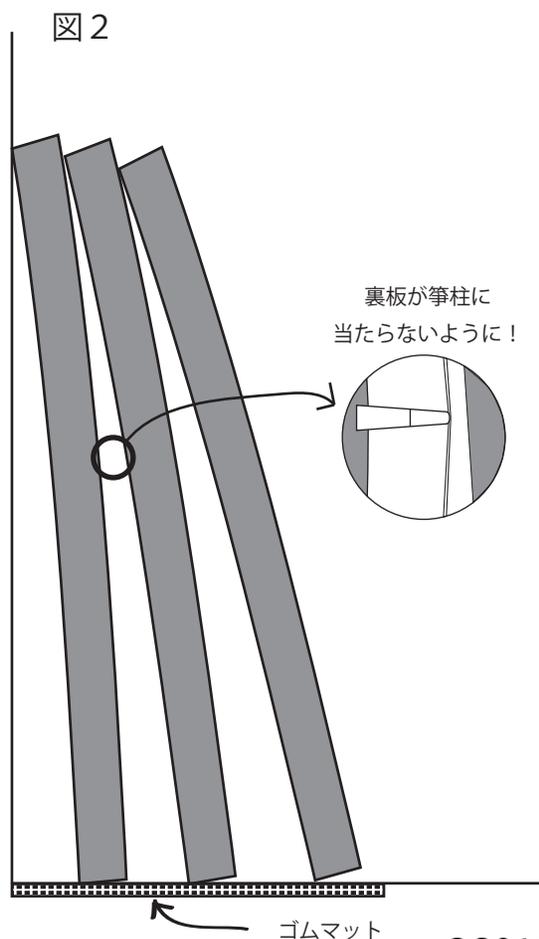
箏のセッティングを変える時や、移動をする時など、箏を一時的に何処かに置いておかなければならないことがあります。

その際、図1のように龍尾を上にして壁などにたてかけましょう。扉の開閉があり危ない場所は避けてください。

また、口前袋（普段からしているカバーです）は基本的には付けて置いてください。

口前袋が取れやすくなっているものは口前袋と箏の間に紙など挟んで移動中に取りれないようにするとよいです。

※大人数が出演するような演奏会においては口前袋も事前に外して運搬することも多々ありますので臨機応変に…



面数が多い場合は3面程度、図2のように重ねて場所を効率よく使います。

重ねる際に奥の箏の箏柱に触れないように傾きをつけてください。

ただし、箏を置く場所が十分にあれば重ねない方がよいです。

また、床が硬くすべりやすい場合は箏を置く前にゴムマットなどをしき、箏がすべり落ちないようにしてください。面数を重ねるほどすべるリスクはあがります。